

岩手県内陸北部の地震活動と岩手山の火山活動との関連について

9月3日に岩手県内陸北部を震源とする地震(M6.0:暫定)が発生した。この地震の震源が岩手山付近であったことから、本日、火山噴火予知連絡会の緊急幹事会を開催し、岩手山の火山活動との関連について検討した。

この地震は岩手山頂の南西約10kmで、一連の火山性地震が発生している西岩手山に隣接して起こった逆断層型地震であった。この地震の前後で火山活動と関連する火山性地震や地殻変動に顕著な変化は認められず、また岩手山に噴気活動など表面現象の変化は認められない。

しかしながら、岩手山ではGPS観測などにより以前から西岩手山の地震活動域の直下を中心に膨張が認められており、その変動は最近の水準測量によっても確認されている。また、火山性地震の活動も消長を見せながら継続していることから、噴火の可能性も含めて地震活動などの推移などに今後も注意が必要である。